

### 根拠となる国の基本方針

「第3期科学技術基本計画」(平成18年3月28日 閣議決定)  
「分野別推進戦略」(平成18年3月28日 総合科学技術会議)

➤社会・国民に支持され、成果を還元する研究開発

#### ○戦略重点科学技術(社会基盤分野)

静粛超音速研究機の研究開発

航空機・エンジンの全機インテグレーション技術

全天候・高密度運航技術

○重要な研究開発課題(社会基盤分野、ものづくり分野)

「航空科学技術に関する研究開発の推進方策について」  
(平成18年7月 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会)

➤重点的に進めるべき研究開発

○社会からの要請に応える研究開発

○次世代を切り拓く先進技術の研究開発

○航空科学技術を支える基盤の充実

「静粛超音速機技術の研究開発の推進について」  
(平成19年7月 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会)

○次世代SST\*がアジア圏の日帰りや欧米主要都市への6時間以内の移動を実現するには、環境適合性と経済性の両立が不可欠

○特に、ソニックブーム(衝撃波)低減は最も重要な課題であるが、JAXAには、過去の研究成果に基づく技術的優位性がある

○次世代SSTの国際共同開発への我が国の主体的な参画等に貢献すべく、可能な限り早期に世界的な優位技術を獲得すべき

「20年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」  
(平成19年6月14日 総合科学技術会議)

➤イノベーション25に基づく取組と戦略重点科学技術への重点化

「長期戦略指針『イノベーション25』について」(平成19年6月1日 閣議決定)

➤未来に向けた高い目標設定と挑戦、グローバル化への的確な対応

### 平成20年度の重点化の視点

\*次世代超音速輸送機

○未来に向けた次世代を切り拓く技術への挑戦 ○社会からの要請に応える研究開発 ○戦略重点科学技術への重点化

### 平成20年度の重点化施策

#### 次世代超音速機技術の研究開発

#### 超音速

低騒音で経済的な超音速機技術の研究開発

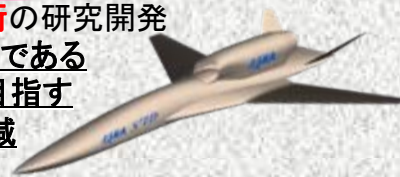
○世界に先駆け、最高峰の技術である

ソニックブーム強度の半減を目指す

○機体全体のソニックブーム低減

技術は日本が世界初

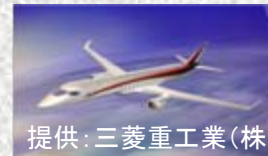
○日本が得意とする他の技術課題も取り組む(騒音低減等)



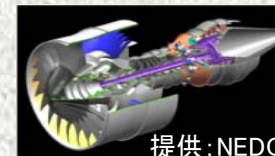
#### 国産旅客機・エンジン開発に貢献する研究開発

#### 要素から統合へ

- ・国産旅客機やエンジンのまるごと開発に貢献
- ・研究開発に必要な試験研究設備の整備



提供:三菱重工業(株)



提供: NEDO

#### 安全・高効率運航技術等の研究開発

#### 安全・効率

運航の安全性・利便性向上に係る技術等の研究開発

